

医師として土台を築く2年間

安心して受診できる

医療を目指して

問 市民病院医事経営課 ☎ 48-5050



研修医とは？

医師は医師国家試験に合格したあと、厚生労働省から指定を受けた研修病院で2年間の初期臨床研修を受けることが義務付けられています。

その研修中の医師を研修医と言い、2年間かけて内科・外科・整形外科など各診療科をローテーションし、指導医・上級医の指導の下、外来診療、処置、手術、病棟業務など各診療科が必要となる専門知識、技術を習得

します。また、月に4回程度、救急外来を担当し、救急車で搬送された患者さんの診察と治療を行います。重症になる前に、あるいは重症を見逃さず早期に治療を開始できるように多くの疾患に対応できる力を身に付けます。

碧南市民病院は指定を受けた臨床研修病院として1年目6人（医科5人、歯科1人）、2年目6人（医科5人、歯科1人）の研修医を受け入れています。今回は、その内の4人に話を聞きました。

市民病院での研修は  
いかがですか？

大泉 上級医、医療職、職員の皆さんがとても優しく、働きやすいです。  
木村 私も同じで気になったことを気軽に聞くことができ、他部署と連携して働けることが魅力です。患者さんにとっても有益だと思います。  
寺田 研修はやりたいことをやらせてもらえるし、自分の時間が持てるところもいいと思います。

碧南市や市民病院の  
印象は？

大泉 のどかなところですね。  
木村 市民の方も穏やかな方が多いなと思います。  
村上 患者さんも温かく友好的で、お話をよく聞いてくださり、ご自身の身体、病状にしっかり向き合っている方が多いと感じます。  
大泉 食べ物がとてもおいしくて、飲食店も良いところが多いですね。

## 研修医のローテート例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	消化器	外科	小児	神経内	外科	麻酔	血液	内分泌	小児	外科	神経内 (内科選択)
2年目	小児	外科	産婦	精神	泌尿器	産科	整形	A病院へ	選択科目	B病院へ	C病院へ	選択科目

## 医師を目指したきっかけは？

**大泉** 会社員を経て医師になりました。会社員生活の中で、自分の本当にやりたいことはこれで良いのかと考えていたときに、「医師になる」と小さい頃に書いた夢のメモを見つけ改めて医師を志しました。

**村上** 人の命を助ける最前線の仕事がしたいと思い医師になりました。

**木村** 人のためになる仕事がしたいと思い医師になりました。東北出身で東日本大震災を経験したことも大きかったです。

**寺田** やりがいをもって働ける仕事をしたいと考え、医師を目指しました。

## 研修医のとある1日

- 7:00 起床
- ▼
- 8:00 出勤
- ▼
- 8:15 診療科カンファレンス  
患者さんの情報、本日の手術の情報を共有します。
- ▼
- 10:00 病棟回診  
回診中、簡単な処置も行います。
- ▼
- 12:00 昼食  
今日のお昼は検食です。
- ▼
- 13:00 手術  
指導医・上級医の指導の下、手術に入ります。症例によっては執刀や助手も担当させてもらえます。
- ▼
- 17:15 業務終了  
カルテ入力など残務を終え、一日の業務が終了
- ▼
- 18:00 帰宅  
夕食を取り、YouTubeを見ながらまったり。
- ▼
- 24:00 就寝



寺田真也 (研修医1年目)

奈良県出身です。旅行が好きなので、新型コロナが終息したら北海道に行き、カニを食べて、ゆっくり温泉につかりたいです。



左から大泉医師、村上医師、木村医師、寺田医師

## 研修が終わったら…

研修医の中には、2年間の初期研修を終えた後も市民病院に残り、後期研修医として専門分野を学ぶ者や地域医療に貢献するために診療科の医師として働く者もあり、医療の最前線で活躍しています。

## 患者さんにメッセージをお願いします！

**全員** 安心して受診ができる医療に取り組んでいきます。温かい先生がそろっているので、気になる症状があればいつでも受診してください。

## 研修医へ 上級医の先生からメッセージ

研修医の先生方の主戦場は救急医療の最前線であり、市民の皆さんと関わる機会も多いです。初心を忘れず日々研さんを積み、質の高い医療が提供できるよう一緒に頑張りましょう。



循環器内科  
牧野医師